

第16回全日本ユース(U-16)水球選手権大会－桃太郎カップ－【戦評】

会場：倉敷市屋内水泳センター 【2023/12/24】

この試合のプレー集計

男子Bリーグ戦

富山県選抜

8

0	－	2
4	－	4
1	－	5
3	－	3
PSO		

14 三重県選抜

審判：

御崎 智徳
坂井 奎太

富山県選抜	20	SH数	23	三重県選抜
	2	速攻数	3	
	8	ST・SB	9	
	5	SH・P誘発アシスト	7	
	18%	GK阻止率	38%	
	6	EX反則数	7	

ST・SB：ボール奪取・SH阻止

【試合の流れ】

実力のあるチーム同士のリーグ戦初戦。攻撃力では三重がやや上回ることから、富山がしっかりディフェンスしてチャンスを活かせる水球に持ち込めるかどうかポイント。

【1P】

三重はやや攻撃時にもたつくところがあるが、左利きのいる右サイドを軸にした攻撃で⑦小坂、⑧伊藤が確実に決めて富山0－2三重で第1ピリオド終了。富山はペナルティを誘発したまではよかったが、ペナルティSHを外してしまったのが痛かった。

【2P】

富山がセンターで⑤田屋が決めて1点を返すが、三重も⑨山内がサイドから決めて突き放しにかかる。さらに④山本がトップ位置から決めて点差を広げた。三重の退水攻撃を防いだ富山がカウンター攻撃に出て⑩流が決めて3点目をマークして追いつがる展開に。三重はその直後に④山本が決めて再び2点差。ピリオド終盤はお互いに点の取り合いとなり、富山4－6三重で第2ピリオド終了。

【3P】

ここでも三重が主導権を握る展開。④山本がこの試合3点目を決めて3点差、さらに③山崎が独泳となって4点差、⑨山内、③山崎がゴール前を押し込んで一気に6点差となった。富山はタイムアウトで流れを変えようと粘り、③荒木が6mSHを決めて追いつがるが、三重の⑧伊藤がお返しとばかりの6mSHで加点。富山5－11三重と6点差で最終ピリオドへ。

【4P】

ピリオド開始から三重がペナルティを誘発し、三重⑦小坂が突き放した。その後も着実に加点。富山も最後まで粘って、センターでペナルティを誘発するなどして追いつがったが、最終的には富山8－14三重で、三重が上位進出の道を切り開いた。

三重がリーグ戦の初戦で完勝した形だが、中盤でのプレスディフェンスが功を奏して富山にボールを回させず、そうしたディフェンスからの攻撃で優位に立った。富山は高い位置での相手ディフェンスに手を焼く形となったわけで、それを想定した攻撃の流れを作るために、ボールを保持していない選手たちの動きの改善が今後の課題であろう。